

令和4年度 吉川市立北谷小学校 教育活動に関する調査(保護者集計)

評価項目	No.	質問事項	評価	結果の振り返り・考察
			4点満点	
組織・運営	1	学校は、学校教育目標の実現のため、様々な取り組みに努めている。	3.4	いずれの項目でも、3以上の肯定的な評価をいただきました。「学校教育目標の実現のために様々な工夫を行っている」、「体験学習が充実している」、「学習カードや読書週間、マラソン等児童が目標に向かって活動している」などのお声をいただいています。 その一方で、小中連携については「どのような連携をしているのかわからない」というご指摘をいただきました。中学校との統一ルール、板書の仕方や授業の2分前着席など、着実に取り組みを進めております。今後も小中連携に力を入れ、その成果と課題等について広報に努めてまいります。
	2	教職員はPDCAサイクルのもと教科指導や学級経営・校務分掌にあたっている。	3.3	
	3	学校は事故やトラブルに対してのマニュアルを作成・掲示し、適切に対応している。	3.2	
	4	学校は清掃活動や掲示物等に力を入れるなど、組織的に環境美化に努めている。	3.3	
	5	学校は小中の連携を図り、小中一貫教育を推進している。	3.1	
と保護者連携・協力	6	教職員はPTA活動や学校応援団の活動に積極的に協力している。	3.4	「子どもたちの様子がわかる」「子育てと親育てとして勉強になる」「ほぼ毎日更新していて内容が充実している」など、学校HPや学校だよりについて多くの評価のお声をいただきました。PTA活動や応援団活動も、制限の中多くの皆様のご協力くださったことに感謝の声をいただいています。 一方、地域人材の活用については、「どんな活動をしているのか見えにくい」などのご意見をいただきました。コロナの収束に合わせ、積極的な地域人材の活用と広報に努めてまいります。
	7	学校は、学校の様子や成果を「学校だより」やホームページ、Home&Schoolアプリ等を活用し、積極的に情報提供している。	3.7	
	8	学校は地域の人材を活用するなど、保護者と地域が連携した教育活動を推進している。	3.3	
学力	9	児童は、落ち着いて学習に取り組み、学習内容を理解しようとしている。	3.1	本校は算数科の授業研究に取り組み、子どもたちが主体となる学習の展開等、指導法の改善に努めています。学力向上に関して、「子どもにとって適切な課題を提供している」「子どものやる気を引き出している」等のお声をいただいています。また教職員が積極的にICTを活用し、学習指導に役立てていることにも肯定的なお声をいただきました。 一方、「学校の学習ルールが家庭に伝わっていない」等のご指摘がありました。ご家庭と学習ルールを共有し、学習効率を更に高めることを課題の一つととらえ、今後取り組んでまいります。
	10	教職員は学力向上を目指し、PDCAサイクルのもと、児童児童の実態に基づいた授業改善に努めている。	3.2	
	11	教職員は一人一台端末を積極的に活用し、ICT活用を推進している。	3.3	
	12	学校は学習ルールを定めて授業を進めるなど、共通理解のもと指導にあたり、児童の学力を高めている。	3.3	
規律ある態度	13	児童は、友達や教職員・来校者に進んであいさつをしたり、正しい言葉づかいをしたりすることができる。	3.0	全校で挨拶の推進に取り組んでいますが、「朝の旗振りをしていると子どもたちが挨拶をしない」などのご指摘をいただいています。引き続き、ご家庭と連携しながら挨拶をすることの大切さについて指導を継続してまいります。 いじめの防止については、「先生からすぐ情報が入り、対応している」というご意見をいただく半面、「子どもにとってどこまでをいじめとするのかを明確にする必要がある」等のお声もいただいています。心理的、物理的に相手に苦痛を与えればいじめになります。すべての教育活動でいじめ防止に取り組んでおります。引き続き、予防と対応に努めてまいります。
	14	児童は、生活のきまり・時間を守ることができる。	3.2	
	15	児童はいじめなどの行為をすることなく、お互いのよさや努力を認め合って、学校生活を送っている。	3.1	
	16	教職員は自ら手本となり、児童に対して規範意識を高める指導を行っている。	3.3	
健康・体力	17	児童は、体力向上に向け、保健体育の授業や業前マラソン・外遊びに意欲的に取り組んでいる。	3.6	体力向上について、体を動かすことの楽しさを味わわせる授業の工夫や運動習慣の奨励に努めています。食育について、本校は給食の残菜率は常に市内トップを維持しています。引き続き、健康の基礎となる体力向上、食育指導に取り組んでまいります。
	18	学校は、児童の健康管理および食育に関する意識を高めている。	3.5	
教 育 児 童 相 互 指 導	19	学校は、児童の立場に立ち、一人一人の思いや願いを大切にし、児童に寄り添った対応をしている。	3.3	いずれの項目も3以上の数値をいただいています。一方で、「先生にはなるべく多くの子にかかわってほしい」「タブレット使用のルールを確立してほしい」等、貴重なご意見をいただきました。児童一人一人に寄り添う生徒指導をいっそう推進し、全職員で全校児童を見守ることに努めてまいります。
	20	学校はいじめや不登校をなくすため、生徒指導の充実を図っている。	3.1	